

明日も元気で来いよ！

99

10月の玄関掲示



早くも10月を迎えました。

心のアンテナを敏感にはって、次第に深まる秋を感じたいものです。

今月の玄関掲示は、ブドウとコスモス。少し遠慮がちな淡い色合いが初秋によく似合います。(学校だよりでも紹介しました)

さて、玄関掲示に「神無月」という言葉を書きました。ご承知のように、これは、10月の別名です。(俳句の世界では、11月ごろ、冬の季語だそうです。)

先日の朝会で、「神無月」にまつわるクイズを出しました。

10月は、日本中の神様がるところに集まって留守になるので、神様のいない月、「神無月」と言われています。でも、神様たちが集まるところでは、「神あり月」と言われています。さて、神様の集まるところはどこでしょう。

朝会が終わると、早速6年のOさん、Wさん、5年のIさん、Kさんが答えに来ました。4人とも、見事正解。その後も、4年生、3年生、2年生、1年生……たくさん子どもたちが、答えに来てくれました。(ホームページもご覧ください)

正解した子どもには、このようなカードをプレゼントしています。



日本地図に、出雲大社の場所を示しました。言葉は、五・七・五・七・七の短歌調にしました。

どんなことでもかまいません。このことが、日本の地理や和歌、そして、神話など、様々なことに興味をもつ契機となってくれたらいいと願っています。

子どもの未来は、無限に広がっています。小学校時代の、ほんの小さな出来事が、もしかしたら、その子の一生に影響を与えるようになるかもしれません。そう思うと、私たち大人は、「その子の可能性を引き出し、のばす」ために、人との出あい、心に響く本や作品との出あい……できるだけ多様な出あいの場を子どもに提供してやりたいものです。

そんな中で、うれしいことがありました。3年生のK君が、わざわざ私のところへ「古事記を読んだことがあって、その中に神様が集まることがかいてあった……」と言いに来てくれたのです。古事記で読んだことのある内容と、今回私が出したクイズがうまく結びついていて、K君は、私に話してくれたのです。契機(きっかけ)とは、こういうものなのですね。

神無月の由来には、諸説があります。

今回、私もいろいろ調べてみました。すると、興味あることがたくさん出てきました。インターネットでもたくさん紹介されていますので、興味のある方は、アクセスしてみてください。

また、宗教としてでなく、日本の文化に触れるという意味で、「古事記」などにある神話も一度は読んでおきたいものです。

「徒然草」には、「十月、よろづの神たち、大神宮へあつまり給うなどという説あれど」という記述があります。鎌倉時代には、神々は伊勢神宮に集まるという民間信仰があったようです。近世の書物では集まる先が、出雲大社になっています。(美しい日本語「季語の勉強」創元社 より)

台風対応 お騒がせしました

台風18号では、午前11頃、近隣の兵庫県尼崎市でも暴風警報が出ていました。そのため、大阪市にも警報が出される可能性が高いと判断し、事前にその可能性をホームページやはなまる連絡帳(メール)で情報提供させていただきました。和歌山、京都、兵庫と、暴風警報が出る中、結果的には、大阪に暴風警報は、出ませんでした。保護者の皆様には、ご心配をおかけしました。

子どもたちが登校した後に暴風警報が出された場合、保護者の皆様とより迅速に連絡を取り合うことが課題です。学校からは、はなまる連絡帳のメールで一斉に連絡することができます。(登録されていない方には、電話連絡しています)。しかし、児童を下校させる場合、集団下校ですぐに下校させてよいかどうかの確認が必要です。多くの方が、この確認を希望されておられます。警報が出た場合は、通学路の安全を確認した上で、一刻も早く集団下校させるのが原則です。現在、確認の連絡を迅速にするための方策を検討しています。